

京の知恵

WEB
開催

参加
無料

先着
100名

協賛

(一社)繊維学会
(一社)日本繊維機械学会
(一社)日本繊維製品消費科学会
(一社)日本繊維技術士センター
京都染色研究会
京染・精練染色研究会
西陣織物研究会

新価値創造講演会

令和5年
3 / 15 (水)
13:30～17:00

13:30～13:40 開会挨拶
京都工芸繊維大学 繊維科学センター長 鋤柄 佐千子

13:40～14:10
「新・産技研を目指した
リブランディングプロジェクトについて」
(地独)京都市産業技術研究所 プロジェクトリーダー 山本 貴代

14:10～14:40
「『京都×能装束』文化ものづくりプロジェクト
について」-京都企業との共同研究開発-
(地独)京都市産業技術研究所 主席研究員 松原 剛
株式会社亀田富染工場 執行役員 企画チーフ 北村 知子

14:40～15:10
「その場学習を目指した
柄のある織物の欠陥検出技術の開発」
(地独)京都市産業技術研究所 主席研究員 本田 元志

15:10～15:20 休憩
15:20～15:50
「京都発—繊維リカレント教育の実施
(社会人教育公開講座)」

京都工芸繊維大学 繊維科学センター 特任教授 保城 秀樹
15:50～16:20
「『サーキュラーマテリアル』
繊維素材の完全循環を図る」
京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 奥林 里子

16:20～16:50
「令和4年度繊維科学センター
活動の指針と状況報告」

京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 鋤柄 佐千子
16:50～17:00 閉会挨拶
(地独)京都市産業技術研究所理事 研究室長 山本 佳宏

お申込み・お問い合わせ



京都工芸繊維大学
繊維科学センター



075-724-7701



fiber@kit.ac.jp

申込み締切り：3月10日(金)

申込みURL：

<https://www.kit.ac.jp/entry/view/index.php?id=255139>

申込み
サイト



京都工芸繊維大学繊維科学センター・（地独）京都市産業技術研究所 共催

「京の知恵」新価値創造講演会

京都工芸繊維大学繊維科学センターと（地独）京都市産業技術研究所とは、「研究等連携に関する覚書（平成22年9月3日締結・平成27年4月1日再締結）」第2条に基づく技術交流及び研究交流により、毎年研究発表会を開催してまいりました。

令和3年度からは、今までの企画内容を一新し、京都が持つ「知」と「技」を活用して、京都工芸繊維大学繊維科学センター及び京都市産業技術研究所が、地域社会や地場企業と連携することにより、持続可能な繊維科学の発展に貢献するための新たな価値創造に関わる内容として、より身近に、より多くの皆様方に参加していただけるような講演会といたしました。

また、今年度、繊維科学センターは事業活動を一新いたしましたので、合わせてその事業概要についてもお知らせしたいと存じます。

下記のとおりオンラインにて実施いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

＜日 時＞：令和5年3月15日（水） 13：30～17：00

＜講演方法＞：Cisco Webex Meetings によるオンライン講演 発表25分・質疑5分 計30分

＜定 員＞：100名

＜参加費＞：無 料

＜協 賛＞：（一社）繊維学会、（一社）日本繊維機械学会、（一社）日本繊維製品消費科学会、
（一社）日本繊維技術士センター、京都染色研究会、京染・精練染色研究会、
西陣織物研究会

＜プログラム＞

13：30～13：40 開会挨拶 京都工芸繊維大学 繊維科学センター長 鋤柄 佐千子

《座長》（地独）京都市産業技術研究所 研究フェロー 杉浦 和明

13：40～14：10

【テーマ】「新・産技研を目指したリブランディングプロジェクトについて」

【発表者】（地独）京都市産業技術研究所 プロジェクトリーダー 山本 貴代

【概要】100年以上に渡り地域企業の持続的な成長を支援してきた京都市産技研では、急速に進む技術革新、大きく変化する社会・経済状況に合わせて、改めて自らの存在価値を見つめ直すリブランディングを行っています。次世代を担う若手職員が、所全体の目指すべき方向性や、イノベーションとなる場の形成などについて取り組んでいます。今回はこれらの取組内容についてご紹介します。

14：10～14：40

【テーマ】『「京都×能装束」文化ものづくりプロジェクトについて」-京都企業との共同研究開発-

【発表者】（地独）京都市産業技術研究所 主席研究員 松原 剛

株式会社亀田富染工場 執行役員 企画チーフ 北村 知子

【概要】本プロジェクトは、京都市が掲げる「文化を基軸にした市政運営」を推進するため市内中小企業に対して、美術館が収蔵する文化的工芸品のデザイン要素を活用した企画提案から商品開発までを行う取り組みです。今回は、一般財団法人林原美術館の協力を得て、桃山文化が創り出した能装束のデザイン要素を活用し、市内企業4社と共に商品企画を行うスキームを構築して「美術や文化を楽しむライフスタイル商品」の販売へ繋げた事例を紹介します。

14 : 40～15 : 10

【テーマ】「その場学習を目指した柄のある織物の欠陥検出技術の開発」

【発表者】(地独)京都市産業技術研究所 主席研究員 本田 元志

【概要】繊維製品の欠陥は多種多様で、製品自体のデザインとも相まって事前に十分な量の欠陥データを収集しておくことが難しく、多品種少量生産品では特にこの傾向が顕著です。本研究では西陣織の製造現場を対象とし、目視検査をサポートする目的で、製織と同時に欠陥検出モデルの訓練を開始し、製織中に欠陥検出能力を獲得させることを想定した織物の欠陥検出技術の開発を検討したので報告します。

15 : 10～15 : 20 休憩

《座長》京都工芸繊維大学 繊維科学センター長 鋤柄 佐千子

15 : 20～15 : 50

【テーマ】「京都発一繊維リカレント教育の実施（社会人教育公開講座）」

【発表者】京都工芸繊維大学 繊維科学センター 特任教授 保城 秀樹

【概要】2022年9月から、京都工芸繊維大学と信州大学との連携により社会人向け教育公開講座として、「テキスタイルのサステナブルマネージメントとテクノロジー」を開設しました。繊維に携わる方で、サステナブル社会を考えたい方を対象として、サステナブルな社会を目指したDX・AIの利用や国際認証制度、SDGsの考え方の講義を行い、グループディスカッション、グループプレゼンテーションと単なる講義に留まらず、実習を含めた人材育成を目指します。

15 : 50～16 : 20

【テーマ】「サーキュラーマテリアル」繊維素材の完全循環を図る」

【発表者】京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 奥林 里子（繊維科学センター副センター長）

【概要】2022年4月設立の未来デザイン・工学機構では、未来社会の変革を促すため、異分野融合プラットフォームとして「KYOTO AGORA」を立上げ、視点提示型・仮説生成型の研究の発想を学内教員により進めています。その新領域開発の可能性を模索するテーマの一つとして、繊維をバウンダリーとし素材循環を見える化するプロジェクトを紹介します。

16 : 20～16 : 50

【テーマ】「令和4年度繊維科学センター活動の指針と状況報告」

【発表者】京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 鋤柄 佐千子（繊維科学センター長）

【概要】本年度、繊維科学センターは、新しい時代に即したセンター活動へ向かうべく、これまでの活動を精査、検証し、また本学の特色を打ち出すべくいくつかの試みに着手しました。まだ調査段階のものも含め、活動の指針と本年度の活動概要を紹介します。

16 : 50～17 : 00 閉会挨拶 (地独)京都市産業技術研究所理事 研究室長 山本 佳宏

<参加のお申込み（インターネットによる事前申し込み制）>

下記参加申込みアドレスより必要事項をご入力の上お申し込み下さい。

参加申込アドレス： <https://www.kit.ac.jp/entry/view/index.php?id=255139>

（繊維科学センターホームページ [<http://www.cfts.kit.ac.jp/>] からのご案内しています。）

申込締切日： 令和5年3月10日（金）（ただし、定員になり次第、締め切らせていただきます。）

<ご確認・ご注意事項>

- 本講演会はインターネットを利用した WEB 講演会です。
- 参加方法…後日、ご登録のメールアドレスに参加アドレス(URL)を送信させていただきますので、個人メールアドレスが必要です。
- 使用ソフト…Cisco Webex Meetings（ブラウザによるアクセス可能）
- 参加準備…上記ソフトまたはブラウザが動作可能な機器（パソコン・タブレット・スマートフォンなど）及びインターネット受信環境をご用意ください。
- 接続には、別途受信料がかかる場合がございますが、参加者様の個人負担となります。
- 講演の録画、画像撮影、録音などは、禁止事項とさせていただきます。

<本件お問い合わせ先>

京都工芸繊維大学 繊維科学センター

住所：〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1

電話番号：075-724-7701 FAX 番号：075-724-7705

e-mail アドレス：fiber@kit.ac.jp